

屋外用電波時計 (Type B) 取扱説明書

時計の設置は、取り付け作業や設置後の安全を確保するために工事業者へ
ご依頼ください。

お買い上げありがとうございます。

- この取扱説明書には基本的な設置方法と時計の取扱方法が書いてあります。
- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになった後は、いつでもご覧いただけますよう大切に保管してください。

製造
発売元 **リズム株式会社**

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12
<https://www.rhythm.co.jp>

● ● 目 次 ● ●

1. ご使用前にお読みください	3
2. 重要なお知らせ	4
3. 電波時計について	5
4. 各部の名称と役割	6
5. 設置前の時計の準備	7
6. コンクリート壁面への設置	8
7. 時刻の合わせかた	10
8. 時計の機能について	11
8-1 手動による時刻合わせ	
8-2 電波受信機能の ON/OFF 切り替え操作	
9. 参考 裏ぶたを分離して設置	12
10. メンテナンス	14
10-1 電池の入手および交換方法	
10-2 お手入れについて	
11. こんなときは	15
製品仕様	15
保証書	裏表紙
アフターサービスについて	
お問い合わせ先	

1. ご使用前にお読みください

取扱説明書の表記について

工事業者様へと書かれている作業は、危険を伴うことがありますのでお客様が直接なさないでください。

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明 ○ 禁止（してはいけないこと）を示しています。

❗ 指示する行為を必ず守ることを示しています。

警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

注意 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

警告 ⚠️ リチウム電池について

この電池は、リチウム、有機溶媒などの可燃性物質が含まれており、使いかたを誤ると、電池からの液漏れや発熱、破裂、発火したり、けがや機器故障の原因となりますので、つぎのことを必ずお守りください。

- ショートさせないでください。
- 加熱しないでください。
- 直接ハンダ付けをしないでください。
- 充電しないでください。
- 強制放電しないでください。
- 分解したり加圧変形させないでください。
- 電池を落下させたり、投げつけたりして、衝撃を与えないでください。
- 種類の異なる電池や新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池の⊕⊖を逆にして使用しないでください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。
- 電池から液漏れや異臭がするときには、漏れた電解液に引火するおそれがありますので、直ちに火気から遠ざけてください。
- 電池のフィルムをはがしたり、傷つけたりしないでください。
- 電池を水にぬらさないでください。発熱するおそれがあります。
- 電池の液が目に入った場合は、目に障害を与えるおそれがありますので、こすらずに水道水などのきれいな水で十分に洗った後、すぐに医師の治療を受けてください。
- 電池の液をなめた場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。
- この電池は一般的に不燃ごみとして捨ててもよいことになっていますが、自治体の条例などの定めがある場合には、その条例に従ってください。
- 電池を廃棄するときは⊕または⊖の端子を絶縁してください。

注意 ⚠️ ○ 分解・改造の禁止

- 作業指示がある場所以外の分解・改造はなさないでください。故障や破損の原因となります。

2. 重要なお知らせ

警告 **時計を設置するときは次の事柄をお守りください**

- (1) 時計を安全かつ確実に設置するには、専門的な知識や工具や機材が必要となります。工事業者へご依頼ください。
- (2) お客様はこの取扱説明書に **工事業者様へ** と書かれた項目の操作などを絶対に行わないでください。思わぬ事故が発生することがあります。
- (3) 設置場所は、落下事故の防止や取り付け作業および設置後のメンテナンスなどに時間や費用がかかり過ぎないようにご配慮ください。
- (4) 取り付ける建造物の構造が、取り付け強度が確保できることを確認してください。強度が不足すると、振動や風圧などにより落下し、人身事故が発生するおそれがあります。
- (5) この取扱説明書の設置方法は、コンクリート製の壁面を前提にしております。これ以外の建築構造物への設置方法については工事業者または当社へご相談ください。強度や取り付け方法が条件を満足しない場合、風圧や振動などにより、時計の落下や建築構造の倒壊など人的・物的損害が発生するおそれがあります。

警告 **保守・修理について**

お客様が直接作業を絶対行わないでください。思わぬ事態により、人身事故が発生するおそれがあります。保守・修理は販売店またはお客様相談室にお問い合わせください。

警告 **設置場所について**

設置場所は、建造物の構造や地表からの高さ・角度・障害物など十分に確かめ、落下事故などの危険防止や取り付け工事およびその後の保守・修理などに時間や費用がかかり過ぎないようにご配慮ください。

注意 **設置場所の環境について**

内蔵の回路、機械、電池および外装部材の品質が低下し、精度不良や故障の原因となりますので下記のような場所では使用しないでください。

- 温度が+60℃ (60度) 以上になる所や-20℃以下になる所。
- 塩害が発生する所。
- 温泉場などガスが発生する所。
- 強い電磁波が発生する所。
- 振動の激しい所。
- 多くの油を使用する所。
- 風速が45m/sを超える強風が吹く所。

3. 電波時計について

電波時計とは

正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

標準電波とは

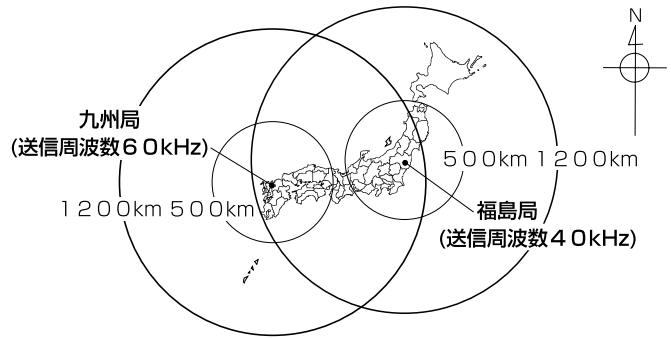
日本標準時をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。

標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jy.nict.go.jp)

※アドレスは変更になる場合があります。



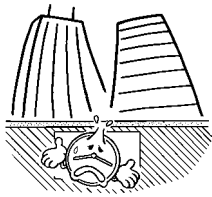
受信可能な範囲

送信所からおよそ約1200kmの範囲です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。

- この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。
- 日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信して、日本の時刻を表示したり、誤った時刻を表示することがあります。
- 送信所の定期点検や落雷などにより、標準電波の送信が止まる場合があります。

電波を受信しにくい環境について

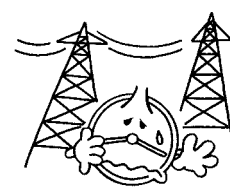
次のような場所では受信できない場合や誤受信することがあります。



地下やビルの谷間、大型ビルの奥まった部屋など電波の届きにくい所



工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所



高圧線、テレビ塔、電車の架線近く



朝夕の時間帯、雨天のとき

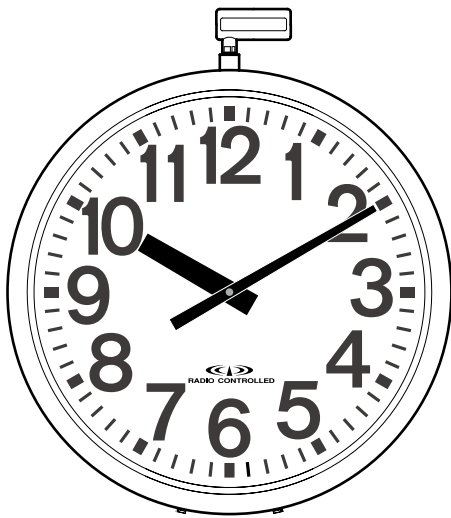


電化製品やOA機器の近く

4. 各部の名称と役割

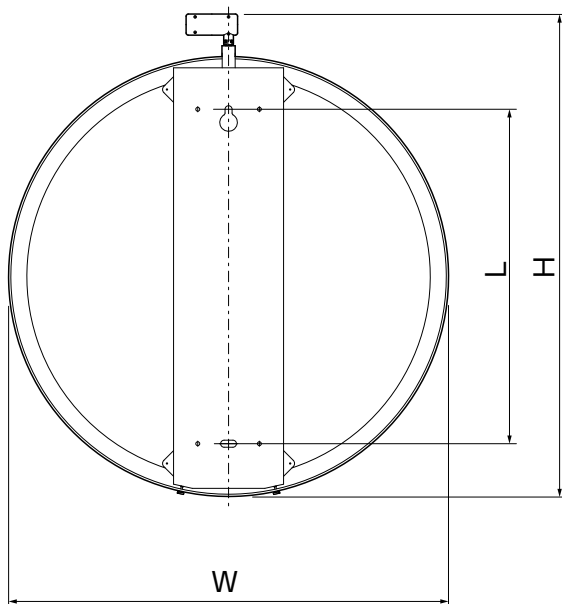
工事業者様へ

時計正面

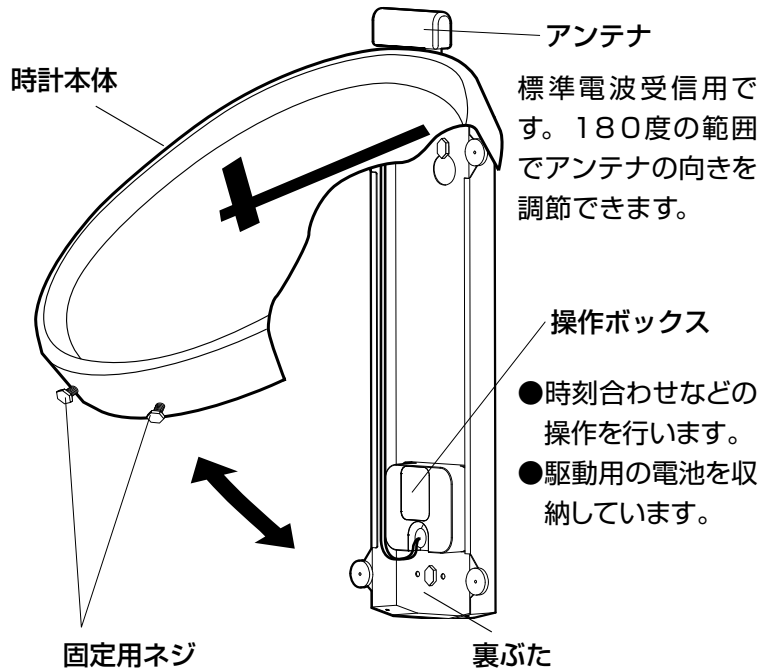


※透明カバー上の保護フィルムは取り付け工事が終了してからはがしてください。

外形および取り付け寸法



製品番号	4MY698	4MY699
W	700mm	1000mm
H	800mm	1100mm
L	540mm	760mm
総重量	11.5kg	19.0kg

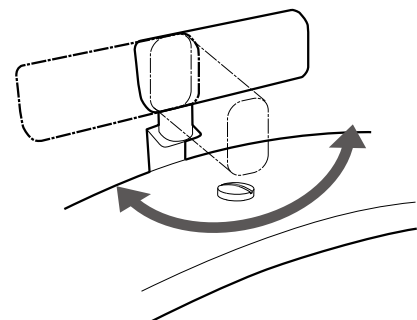


標準電波受信用です。180度の範囲でアンテナの向きを調節できます。

- 操作ボックス
- 時刻合わせなどの操作を行います。
 - 駆動用の電池を収納しています。

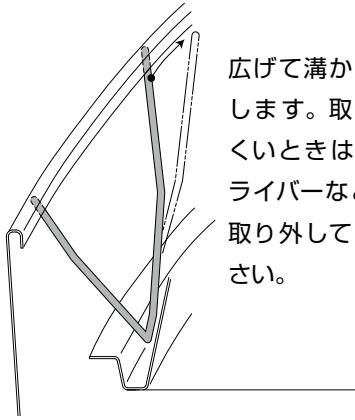
時計の設置、電池の交換や手で時刻調節をするときに、時計本体と分離することができます。は、下部の固定用ねじを緩め、「9. 参考 裏ぶたを分離し図のようにして行います。て設置」(P.12) 参照

アンテナの角度の調整



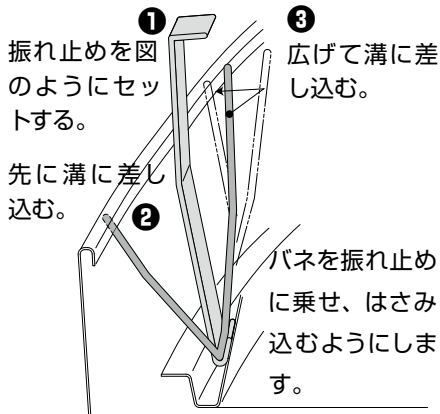
アンテナは、角度を調整することができます。通常は平面部が送信所に向くようにします。
※環境によっては、他の方向に向けたほうが受信しやすい場合があります。

バネを外す



広げて溝から外します。取りにくいときは、ドライバーなどで取り外してください。

振れ止めを取り付ける



① 振れ止めを図のようにセットする。

先に溝に差し込む。

③ 広げて溝に差し込む。

② バネを振れ止めに乗せ、はさみ込むようにします。

振れ止めの取り付け

振れ止めを取り付けると、強風などによる時計の揺れを防ぐことができます。必要に応じて取り付けてください。

ご注意

- 振れ止めの位置に支える壁面があること。
- 振れ止めが当たる壁面が汚れたり、傷つくことがあります。
- 振れ止めは指定以外のところに取り付けしないでください。

(1) バネを外す

指定された2カ所のバネを取り外します。

4MY698の場合(φ700mm)

4時、8時位置のバネ

4MY699の場合(φ1000mm)

3時、9時位置のバネ

(2) 振れ止めを取り付ける

左図のようにして、元の位置に取り付けてください。

このとき、バネはしっかり取り付けてください。

作業上のご注意

バネが飛ばないように押さえながら作業してください。

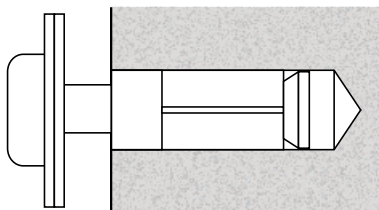
⚠ 警告 ⚠ 設置するときは次のことをお守りください

- 取り付けに使用するボルトはステンレス製または鋼製亜鉛メッキ品を使用してください。鋼製亜鉛メッキ品を使用するときには、取り付け後、必ず防錆塗料を塗ってください。他のボルトを使用した場合、腐食により製品が落下して人身事故に至ることがあります。
- 壁面がコンクリートの場合は、M10AY プラグボルトを使用してください。木ネジによる取り付けは絶対行わないでください。風圧や振動により製品が落下して人身事故に至ることがあります。
- 時計固定ネジと取り付けボルトは、十分締めつけてください。締め付けが弱いと風圧や振動により、製品が落下して人身事故に至ることがあります。

6-1 準備するもの

下記のもの付属しておりませんので事前にご用意ください。

- M10 AY プラグボルト 2個
- M10 ボルト 2個 AY プラグボルトに適合したもの
- M10 用座金 2個
- M10 バネ座金 2個
- M8 アイボルト 1個 吊り下げて設置する場合
- 防錆塗料（鋼製亜鉛メッキボルト使用時）



参考 最大強度

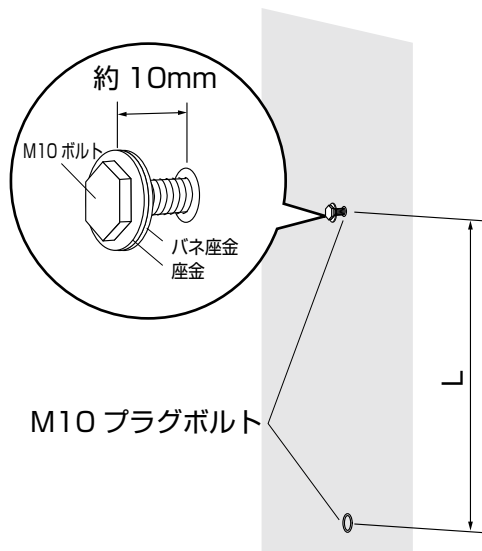
ご使用になるプラグボルトにより異なる場合がありますので、事前にご確認ください。

天井面 15690N (1600kgf) 壁面 21084N (2150kgf)

※コンクリート圧縮強度 2452N/cm² (250kgf/cm²) にて

※上塗り（モルタルや漆喰）の厚みに注意してください。

6-2 コンクリート壁面へプラグボルトを取り付け



左図のようにコンクリート壁面にプラグボルトをしっかり取り付けます。また、上部にはかけるためのボルトを取り付けます。

このとき図のように、10mm程度あけてください。ここに時計を掛けて、下部のボルトを締め付け後に締め付けてください。

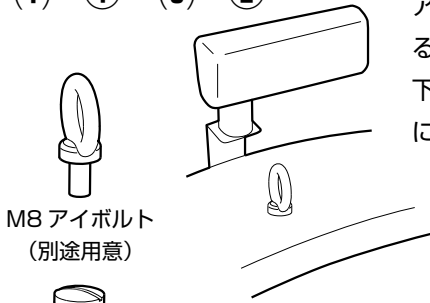
プラグボルト間の距離Lは製品により異なります。

4MY698 540mm

4MY699 760mm

6-3 時計の設置

(1) - ① (3) - ②



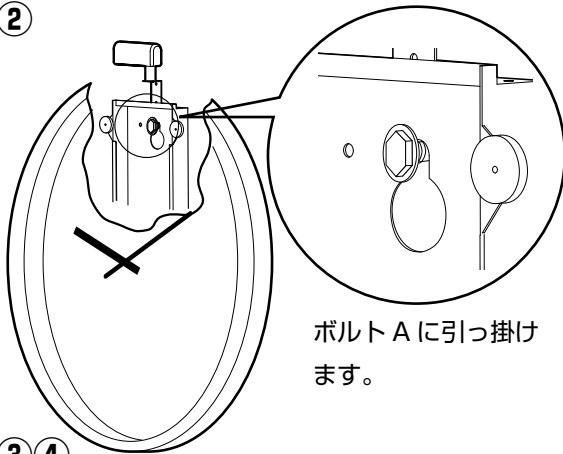
防水キャップ
(製品に付属)

アイボルトは、設置するとき、時計を吊り下げて移動させるときに使います。

(1) 時計を壁面に取り付ける

- ① 必要に応じてアイボルトを取り付けます。
- ② 時計を壁面のボルトに掛けます。
- ③ 2本の固定用ネジを緩めます。
- ④ 時計本体を開き、ボルト A、B を締め付けます。
※時計が垂直になるようにしてください。
- ⑤ 必要に応じて、取り付けボルトに防錆塗料を塗布します。

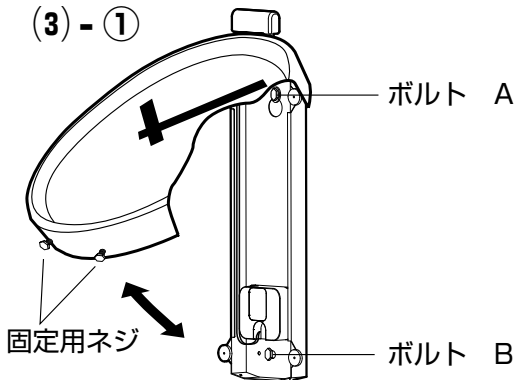
(1) - ②



ボルト A に引っ掛けます。

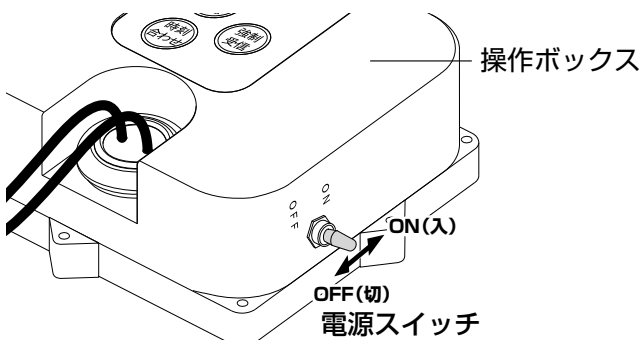
(1) - ③④

(3) - ①



時計下部の固定用ネジを緩め、時計本体を開けて作業します。時計が垂直になるように調整後、B のボルトを締め付けます。その後、A のボルトを締め付けます。

(2) - ①②



(2) 時計の時刻を合わせる

詳しくは「7. 時刻の合わせかた」(P.10 参照)

- ① 操作ボックスの電源スイッチを ON にします。
- ② 強制受信ボタンを押します。
- ③ 6～30分後に受信結果を確認します。

受信確認ボタンを押して、受信表示ランプの状態を確認します。

受信成功：5 秒間点灯

受信失敗：5 秒間点滅

受信に失敗した場合は、アンテナの向きを変えてから②からやり直してください。

(3) 時計本体を固定する

- ① 時計を閉じて 2本の固定用ネジを締め付けます。
- ② アイボルトを使用した場合は、アイボルトを取り外し、防水キャップを取り付けます。

(4) 透明カバーの保護フィルムをはがす

ご注意

※取り付けの最後には、ボルトおよびネジの締め忘れなどが無いかよく確認してください。

※時計本体を開閉するときには、アンテナが図のような位置にあることを確認してください。

時計を開きすぎると、時計本体とアンテナがぶつかり破損するおそれがあります。

参考

時計をそのまま設置できない場合、時計本体と裏ぶたを分離することができます。この場合、ケーブル等の配線を行う必要があります。

手順は、「9. 参考 裏ぶたを分離して設置」(P.12)を参照。

7. 時刻の合わせかた

工事業者様へ

受信には強制受信ボタンを押したあと、電波の状態などにより6～30分かかります。

①強制受信ボタンを押します。

受信には6～30分間かかります。

②受信結果を確認します。

受信表示ランプが消灯していることを確認して受信確認ボタンを押します。

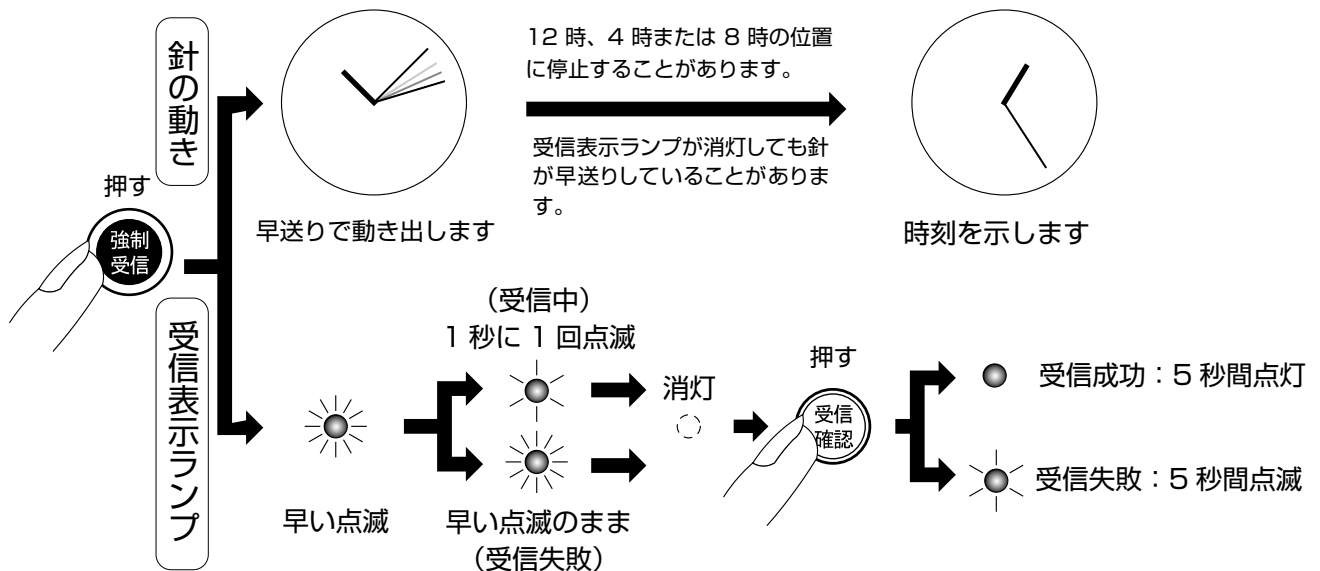
受信成功：受信表示ランプが5秒間点灯

受信失敗：受信表示ランプが5秒間点滅



●受信に失敗した場合は、アンテナの向きを変えてから、①からやり直してください。

●受信に成功してもノイズなどにより、誤った時刻を表示することがあります。このような場合は、①からやり直してください。



電池を接続した時点で、針が動き出したり、受信表示ランプが点滅を開始しますが、必ず強制受信ボタンを押してください。

■ アンテナの向きを変えても受信できない場合の対応

①手動で時刻を合わせて、1日以上間を空けて受信結果を確認する。

比較的夜間は電波の状態がよくなりますので、日にちを置いて受信の結果を確認してください。

②電波受信機能を停止し、手動で時刻合わせをして使用する。

「8-1 手動による時刻合わせ」および「8-2 電波受信機能の ON/OFF 切り替え操作」をご覧ください。

8-1 手動による時刻合わせ

針が早送りしているときは、通常の表示状態になってから操作してください。

時刻合わせボタンの操作

分針を合わせる

- 時刻合わせボタンを1回押す（押してすぐ離す）と1分進みます。
- 時刻合わせボタンを押し続けると早送りになります。

時針を合わせる

- 受信確認ボタンを先に押し続けながら、時刻合わせボタンを1回押すと1時間進みます。（時針が1時間進む）
- 受信確認ボタンを先に押し続けながら、時刻合わせボタンを押し続けると、時針が早送りになります。

※時針および分針は、1回転するのに約3分かかります。

※手動で時刻合わせをすると時間精度はクォーツ精度になります。

※電波受信機能が「ON」の場合、手動で時刻合わせをしても受信に成功すると時刻は修正されます。

8-2 電波受信機能の ON/OFF 切り替え操作

ノイズなどにより誤受信しやすい所や、意図的に時間をずらしてお使いになるときに、電波を受信しないようにすることができます。この場合、時間精度はクォーツ精度となります。

■電波受信機能を「OFF」にするには（停止するには）

強制受信ボタンを押し、その後、受信表示ランプの点灯に合わせ、強制受信ボタンをおよそ1秒間隔で2回押します。ボタンを押すタイミングによっては、「OFF」に切り替わらないことがあります。このようなときには、操作を繰り返してください。

強制受信ボタン (押す) — (押す) — (押す) —
受信表示ランプ <点灯> <点灯> <消灯したまま>

※電波受信機能が「OFF」のとき、強制受信ボタンを押すと、針が早送りで動いたり、止まったりしてから、時刻を表示します。

■電波受信機能を「ON」にするには（開始するには）

先に時刻合わせボタンを押しながら、強制受信ボタンを押してすぐ離し、時刻合わせボタンを離します。その後、強制受信ボタンを押して受信を開始します。

時刻合わせボタン (押し続ける……離す) —
強制受信ボタン (押す) — (押す) 電波の受信を開始します。

※針が早送りで動いたり、止まったりしてから、時刻を表示します。

■電波受信機能の状態を確認するには強制受信ボタンを押します。

ON : 受信表示ランプが約3秒間点灯します。

OFF : 受信表示ランプは消灯したままです。

◎ここでの（押す）は、「押して、すぐ離す」という操作ことです。

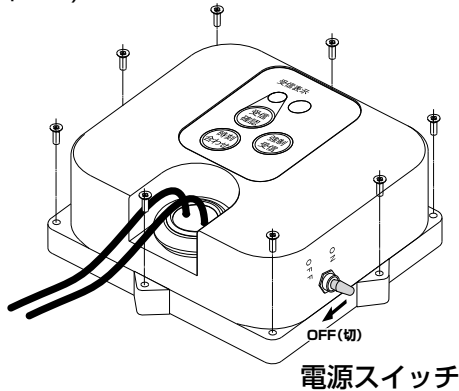
9. 参考 裏ぶたを分離して設置

工事業者様へ

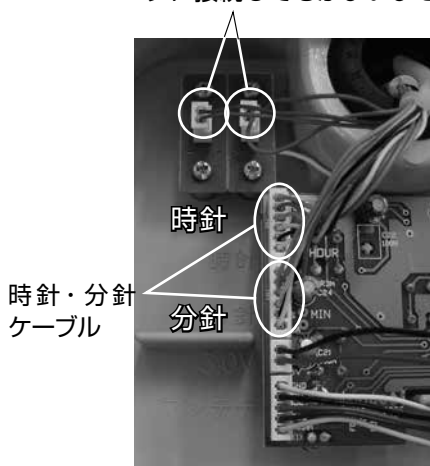
※「6. コンクリート壁面への設置」(P.8) も合わせてお読みください。

操作ボックスの取り扱い

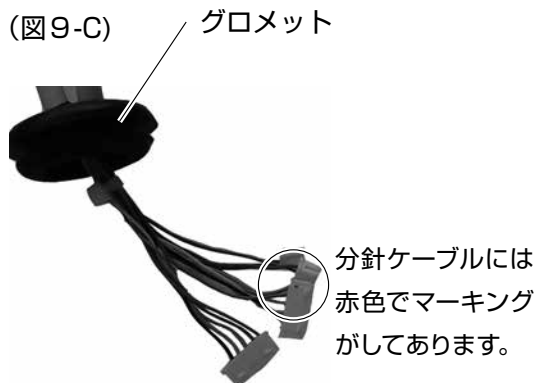
(図9-A)



(図9-B) このケーブルはどちらのコネクタに接続してもかまいません。



(図9-C)



裏ぶたを分離する前にケーブルを取り外します。

■ケーブルの取り外し

- ①時計下部の固定用ネジを取り外します。
- ②電源スイッチがOFFになっていることを確認します。
- ③操作ボックスの8つのネジを取り外します。(図9-A)
- ④操作ボックス上部4つのコネクタを取り外します。(図9-B)
※基板を押さえながら、白いコネクタ部分を持って取り外してください。ケーブルを引っ張ると断線することがあります。
- ⑤操作ボックス上部からグロメットごとケーブルを取り外します。(図9-C)

※ケーブルは裏ぶたにステッplerで固定されていますので、丁寧に取り外してください。

- ⑥操作ボックスを閉め、8カ所のネジを締めます。

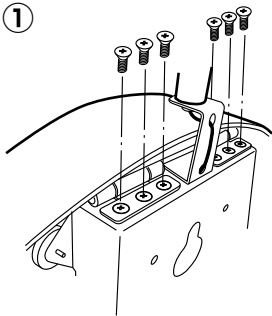
■ケーブルの取り付け

裏ぶたを壁面に取り付けて時計本体を裏ぶたに取り付けた後に、上記「ケーブルの取り外し」を参考にして、取り外したケーブルを正しく接続してください。

作業上のご注意

- 指定以外のところには手を触れないでください。故障の原因になります。
- コネクタを外すときに、ケーブルを引っ張らないでください。断線などの原因になります。

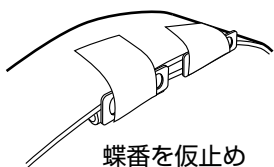
(1) - ①



(1) 時計本体と裏ぶたを分離

- ① 時計下部の固定用ネジを緩めます。
- ② 時計上部の蝶番を固定しているネジを取り外します。
- ③ ケーブル、蝶番をテープなどで仮止めます。
ケーブルが傷ついたり、取付け作業の邪魔にならないようにテープで仮止めしてください。

(1) - ③



(2) 壁面への取り付け

裏ぶたを壁面に時計が垂直になるように、ボルトでしっかり固定してください。

(3) 時計本体を裏ぶたに取り付け

時計本体と裏ぶたを合わせ、蝶番をネジでしっかり固定します。
緩み防止のためネジロックを塗布してください。

(4) ケーブルの取り付け

- ① ケーブルを裏ぶたにステップルで固定してください。
- ② 操作ボックスの4カ所のネジを取り外して開きます。
- ③ 操作ボックスにグロメットを取り付けます。
- ④ 左ページを参照して、ケーブルを正しく接続してください。
- ⑤ 操作ボックスを閉じ、4カ所のネジをしっかり締めてください。

(5) 操作ボックスの電源スイッチをONにする

(6) 時刻を合わせる

強制受信ボタンを押して、受信を開始させてください。
詳しくは「7. 時刻の合わせかた」(P.10) 参照。

(7) 時計本体を固定

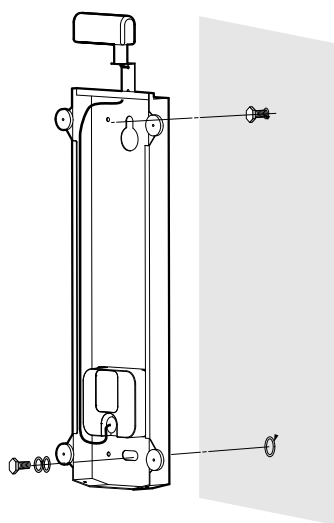
時計を閉めて、固定用ネジを緩まないようにしっかり締めてください。

(8) 保護フィルムをはがす

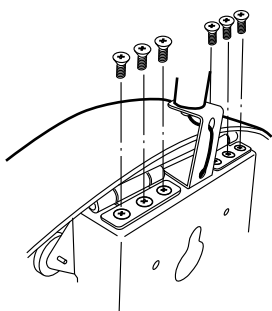
※アイボルトを使用した場合は、アイボルトを取り外し、防水キャップを取り付けてください。

※取り付けの最後には、ボルトおよびネジの締め忘れが無いかよく確認してください。

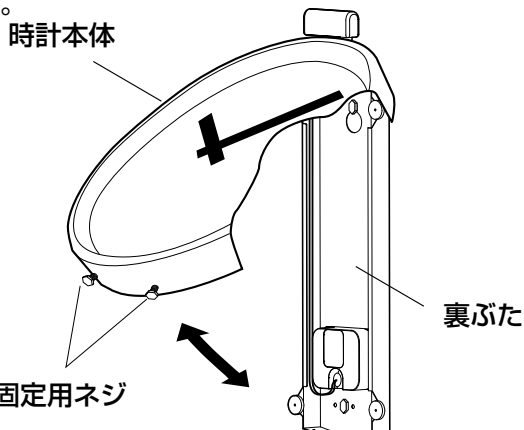
(2)



(3)



ネジを締め付け後、ネジロックを塗布。

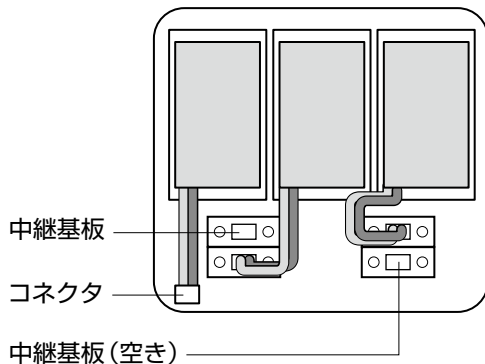


時計の保守・修理は販売店または当社お客様相談室にお問い合わせください。お客様が直接なさらないでください。

10-1 電池の入手および交換方法

電池の交換が必要になると、10時10分を指して停止します。

専用の電池を使用していますので、当社お客様相談室にお問い合わせください。



中継基板から電池のコネクタを取り外し、電池を取り出す。

- ① 時計下部の固定用ネジを緩め、時計を開きます。
- ② 電源スイッチをOFFにします。
- ③ 操作ボックスの8カ所のねじを取り外します。
- ④ 中継基板に接続されているコネクタを取り外します。
※ケーブルを引っ張ると断線することがあります。
- ⑤ 古い電池を取り出し、新しい電池を両面テープで固定します。
- ⑥ 電池から出ているケーブルを中継基板に差し込みます。
※接続不良にならないように確実に差し込んでください。
※4つの中継基板のうち、左図の通り3つに差し込んでください。
中継基板 (空き) には差し込まないでください。
- ⑦ 操作ボックスを閉めます。
- ⑧ 8カ所のねじをきっちり締めます。
※取り付けが悪いと防水性が失われ、故障の原因となります。
- ⑨ 電源スイッチをONにしてから強制受信ボタンを押して、受信を開始させてください。
- ⑩ 時計を閉じて、時計下部の固定ねじをしっかりしめてください。

作業上のご注意

- 指定以外のところには手を触れないでください。故障の原因になります。
- コネクタを外すときに、ケーブルを引っ張らないでください。断線などの原因になります。
- 電源スイッチをONにするとランプが点灯したり、針が動き出しますが、そのまま作業を続けてください。

10-2 お手入れについて

- 年に1回程度、取付部分のゆるみを点検してください。
- ステンレス製の枠が、周囲の鉄粉などが付着してもらい錆を起すことがあります。もらい錆を未然に防ぐために定期的にクリーニングを行ってください。
工業地帯や海岸付近はもらい錆が発生しやすいので、表面をいつもきれいにしてください。
- 汚れがひどいときは、水でうすめた少量の中性洗剤をやわらかい布につけてふき、その後に、からぶきをしてください。
- ベンジン、シンナー、ミガキ粉、ブラシなどを使用しないでください。プラスチックの劣化、変色やキズの原因になります。

●電池を入れても針が動かない

次の項目を点検してください。

- ケーブルは指定のコネクタに正しく接続されていますか
- 赤い印がついたケーブルが分針のコネクタに接続されていますか
- 電池は新しい電池ですか、または古い電池と混用していませんか

●受信時間でもないのに針が早送りで動いている

- 強風などにより、針の位置がずれることがあります。これを修正するために午後 6:30 から午後 8:00 に検査が行われます。修正が必要な場合にのみ針が早送りで動き、正しい位置に修正します。

●針が10時10分で止まっている

電池の交換が必要です。「10-1 電池の入手および交換方法」をお読みください。

●受信確認ボタンを押したときに点滅のしかたが違う

受信確認ボタンを押したときの受信表示ランプの表示は3通りあります。

- 1秒に1回点滅 : 24時間以上72時間未満の間、受信に失敗または電波受信機能が OFF。
- 1秒に2回点滅 : 72時間以上受信に失敗。
- 点灯 : 24時間以内に受信に成功。

製品仕様

時 間 精 度	電波の受信に成功した場合（受信直後） ±1秒以内 表示精度 目盛りに対して±3° 以内 電波を受信できない場合または電波受信機能を OFF にした場合 平均月差 ±20秒以内 温度が5～35℃のとき
受 信 周 波 数	40kHz または 60kHz 自動選択
自 動 受 信 回 数	1日1回～3回 受信状態により変動 受信開始時刻 1回目午前 2:16:40 2回目午前 3:16:40 3回目午前 4:16:40 午前の時間帯に受信ができない場合 受信開始時刻 1回目午後 2:16:40 2回目午後 3:16:40 3回目午後 4:16:40
使 用 温 度 範 囲	-20℃～+60℃
運 針 方 式	時針：2分に1回 分針：10秒に1回
使 用 電 池	筒型リチウム電池（CR8LHC2） 3個
電 池 寿 命	約10年
機 能	電波受信 ON / OFF 切り替え 電波受信結果表示（受信表示ランプの点灯・点滅による表示） 電池切れ表示（10時10分で針が停止） 自動表示位置修正（時刻と針の表示位置ずれ修正機能）
防 塵 防 滴	JIS 防雨型
外 装 材 料	枠：ステンレス 風防：ポリカーボネイト
外 形 サ イ ズ	本文参照

取扱説明書にそった正常な使用状態において、万が一保証期間内に故障がおきた場合、本保証書を添えて時計お買い上げの販売店にご持参くだされば、無料修理・調整いたします。尚、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

この保証書は、お買い上げ店で発行いたします。必ず※印欄の記入・捺印をお確かめのうえ大切に保管してください。保証書は再発行いたしません。

※品名・型番

※保証期間 お買い上げ 年 月 日より 1年間

お客様 氏名 様

ご住所

TEL() -

※販売店印(住所、店名、電話番号)

※印は販売店記入

- 部品の保有期間などアフターサービスについては、取扱説明書に記載してあります。
- この保証書は国内のみ有効です。
This guarantee is valid only in Japan.
- ご記入いただきました個人情報、時計の修理・調整に関するご連絡に利用させていただきます。

■販売店の方へ

この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし、貴店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。

保証について

※送料・出張料は、実費をいただきます。

■ 次のような場合には、保証期間中でも有料修理になりますので、ご注意ください。

- 保証書のご提示がない場合。
- 保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書きかえられた場合。
- お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。
- お客様のお手元に渡ってからのお取り扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障または損傷。
- 天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障、または損傷。
- お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。
- ご使用中に生じる外観上の変化(ケース、ガラスなどの小キズ)
- 電池の交換

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、リズム株式会社がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。お買い上げ販売店でアフターサービスが受けられない場合は、当社お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

●修理部品の保有について

電子回路や歯車などの修理用性能部品は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。

Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ先 お客様相談室 0120-557-005

(フリーダイヤル)

受付時間 9:00~17:00(土日、祝日および当社休日を除く)

お問い合わせに際しては、時計裏面に表示してあります製品番号(型番)をお伝えください。

例 4MY○○○、4MYA○○、8MY○○○、8MYA○○